

まちづくり活動提案書

（ 地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめての一步”部門 ）

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団体名	なごや寺町まちづくり協議会		
提案名	どんぐり広場再生計画		
提案活動を行う地域	名古屋市中区 下日置どんぐり広場		
提案の背景	かつては子供たちであふれていた「どんぐり広場」だが、高齢化が進み子供が減少している現在、近隣住民では草ぬきや剪定、落ち葉の掃除などが現実的に不可能になってきており、その管理が町内の大きな負担になっている。		
提案活動の目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください) ■目的 地域資源の再利用によるコミュニティー構築 ■目標 使われていない「どんぐり広場」をリノベーションして子供だけでなく付き添う大人や近隣住民も憩える緑豊かな都会の中の森にする。 ■成果 緑地化による環境へ好影響及び住民自らが考え作り上げ管理することによる絆の深まり、健康への貢献、喜びの創出、自然への意識の向上。		
提案の内容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) 「下日置どんぐり広場」が子供から高齢者までが集える憩いの場となるための整備計画及び維持計画のマスタープランを構築する。 「どんぐり広場」を自分たち地域特性に合わせて作り上げていくために以下の3ステップを実施。 ① どんぐり広場再生計画案募集。 チラシやホームページにてどんぐり広場の植栽計画及び活用方法のアイデア募集。 ② 実施プランの選定 計画案の中から実行可能なプランを選定し図面作製 ③ 実行に向けての話し合い。 実施プランに基づいた話し合いの中で地域のどんぐり広場に関する意識向上を図り、来年度の整備計画実施を目指す。		
活動期間	平成28年7月～平成29年3月	助成金交付申請額	32 万円

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。</p> <p>かつて子供たちの大切な空間であった「どんぐり広場」は少子化が進む現在においては、ほとんど使用用途がないため管理する熱意が低下している。このような状況の中、「下日置どんぐり広場」は地域の高齢化により今後の町内会での維持管理は不可能であるという判断で昨年末に名古屋市への返却する旨の書類が提出された。</p> <p>その知らせ受け、当団体はどんぐり広場の存続を検討するために昨年秋よりどんぐり広場を使った子供向けイベントを毎月 28 日に開催してきた。この活動が地域の好評を呼び名古屋市への返却は保留され現在どんぐり広場の運営は実質当団体に委任されている。</p> <p>しかし現状は月一回のイベントに使用しているに過ぎないので、それ以外の日でも積極的に活用していくためにどんぐり広場の整備計画が必要だと考える。</p>	
<p>審査基準② 独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>現在のどんぐり広場の管理方法は掃除の労力を減らすために、木の本数を減らす、大掛かりな剪定をする、ホームレスが来ないようにベンチを撤去する、といった最低限の維持中心の考え方で行われている。しかしその結果、樹木の本数は減り、樹形は乱れ、腰かける場所もなく、結果として遊びに来る子供もいなくなった。いったい何のための空間なのかわからなくなっており管理する意欲も低下している。であれば、地域の負担と考えられてきたものを、逆に地域の財産と捉え直し、中区の緑地化を推進する意味でも積極的に木を植え、緑を増やし美しい森にすることにより、場所としての存在価値を高め、皆が利用したくなるような空間へリノベーションすることが「どんぐり広場」存続のために最適だと考える。</p>	
<p>審査基準③ 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か ・場所や人員、規模などは妥当か
<p>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在毎月 28 日「下日置どんぐり広場」のイベントスタッフとして造園業者や建築家が運営に携わっており緑地化や空間構成に関して的確なアドバイスを基に計画を進めることができる。 ● この地域では毎月 28 日に大規模な朝市が開催されており、地域の住民のみならずその朝市来場者にこの取り組みを広く告知していくことが可能である。 ● 下日置町内会長から「どんぐり広場」の管理に関しては内諾を受けている。 	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<ul style="list-style-type: none"> ● どんぐり広場の緑地化を住民自身が行うことにより自然に関する意識の向上を目指すとともに、ひいては街路樹などの植栽に関しても意識を広げていき、地域特性に合わせた植栽計画（例：この地域は松原学区という地域なので、街路樹を松にして松街道を作るなど）など地域の緑化全体に波及させるきっかけにできる。 ● 同じ問題を抱える近隣のどんぐり広場でもこの取り組みを実施し共通のテーマを住民が共有し関わることにより「どんぐり広場」を中心としたコミュニティ形成につなげていきたい。 	
審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。</p> <p>※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚（両面）までを限度とさせていただきます。</p> <p>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「なごや寺町まちづくり協議会」は毎月28日に同時開催されている「東別院手づくり朝市」「西別院 One コイン朝市」「橋大木戸ひなた市」の三か所の朝市と地域との連絡協議会の役割を担う団体として2013年11月より活動をしている。 ● 地域の僧侶、商店主、大学教授などが会員として活動しており、PTAや消防団などの地域活動に従事している会員が多いので地域より好感をもって迎えられている。 ● 地域資源の再発見、再利用による地域振興に力を注いで活動しており、現在、橋大木戸再生、本町通町屋保存、日置神社振興、本町通を中心としたアートイベントの実施に向け活動している。その一環として今回の提案を実施したい。 	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 下日置町内会 ・ 名古屋市役 ・ 日置神社 	<p>どんぐり広場の使用許可済み（2016年5月11日）</p> <p>どんぐり広場の整備に関する確認必要 実施プラン選定会・プラン発表会会場</p>

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。